



Firepower Management Center の事前設定

ステージング ロケーション（複数のアプライアンスを事前設定またはステージングするための中央の場所）で、ターゲット ロケーション（ステージング ロケーション以外の任意のロケーション）に展開する Firepower Management Center (FMC) を事前設定することができます。

アプライアンスを事前設定してターゲットロケーションに展開するには、以下の手順に従います。

1. ステージング ロケーションでデバイスにシステムをインストールします。
2. アプライアンスをシャットダウンし、ターゲット ロケーションに移送します。
3. アプライアンスをターゲット ロケーションに展開します。



(注) すべての梱包材を保管し、アプライアンスを再梱包するときにはすべての参考資料と電源コードを同梱します。

- [必須の事前設定の情報 \(1 ページ\)](#)
- [オプションの事前設定の情報 \(2 ページ\)](#)
- [時間管理の事前設定 \(2 ページ\)](#)
- [システムのインストール \(3 ページ\)](#)
- [Firepower Management Center の移送の準備 \(3 ページ\)](#)
- [クラシックライセンスの削除 Firepower Management Center \(3 ページ\)](#)
- [移送に関する考慮事項 \(4 ページ\)](#)
- [アプライアンスの事前設定のトラブルシューティング \(4 ページ\)](#)

必須の事前設定の情報

アプライアンスを事前設定する前に、ステージング ロケーションとターゲット ロケーションのネットワーク設定情報、ライセンス情報、その他の関連情報を収集します。



(注) ステージング ロケーションとターゲット ロケーションでこの情報を管理するためのスプレッドシートを作成すると便利です。

初期設定時に、アプライアンスをネットワークに接続してシステムをインストールするための十分な情報を使用してアプライアンスを設定します。

アプライアンスを事前設定するには、最低でも以下の情報が必要です。

- 新しいパスワード（初期設定時にパスワードを変更する必要があります）
- アプライアンスのホスト名
- アプライアンスのドメイン名
- アプライアンスの IP 管理アドレス
- ターゲット ロケーションのアプライアンスのネットワーク マスク
- ターゲット ロケーションのアプライアンスのデフォルト ゲートウェイ
- ステージングロケーション（またはターゲットロケーションにアクセス可能な場合はターゲット ロケーション）の DNS サーバの IP アドレス
- ステージングロケーション（またはターゲットロケーションにアクセス可能な場合はターゲット ロケーション）の NTP サーバの IP アドレス

オプションの事前設定の情報

次を含むいくつかのデフォルト設定を変更できます。

- 時間帯（アプライアンスの時間を手動で設定する場合）
- 自動バックアップに使用するリモート ストレージ ロケーション
- LOM を有効にする LOM IP アドレス

時間管理の事前設定

手順

ステップ 1 物理的 NTP サーバと時間を同期させます。

ステップ2 次のいずれかの方法を使用して、DNS サーバと NTP サーバの IP アドレスを設定します。

- ステージング ロケーションのネットワークからターゲット ロケーションの DNS サーバおよび NTP サーバにアクセスできる場合は、ターゲット ロケーションの DNS サーバおよび NTP サーバの IP アドレスを使用します。
- ステージング ロケーションのネットワークからターゲット ロケーションの DNS サーバおよび NTP サーバにアクセスできない場合は、ステージング ロケーションの情報を使用し、ターゲット ロケーションでリセットします。

ステップ3 NTPを使用する代わりに、アプライアンスの時間を手動で設定する場合は、ターゲット展開環境の時間帯を使用します。詳細については、そのバージョンの『[Firepower Management Center コンフィギュレーションガイド](#)』を参照してください。

システムのインストール

手順

ステップ1 [Firepower Management Center インストールおよび初期セットアップ](#)で説明しているインストール手順を使用します。

ステップ2 シャーシのインストールに関する詳細については、『[Cisco Firepower Management Center 1600, 2600, and 4600 Hardware Installation Guide](#)』を参照してください。

Firepower Management Center の移送の準備

手順

ステップ1 FMC の電源を安全に切ります。詳細については、『[Cisco Firepower Management Center 1600, 2600, and 4600 Hardware Installation Guide](#)』、『』を参照してください。

ステップ2 アプライアンスの移送の準備が完了したことを確認します。詳細については、[移送に関する考慮事項 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

クラシックライセンスの削除FirepowerManagementCenter

何らかの理由でライセンスを削除する必要がある場合は、次の手順を使用します。

始める前に

シスコでは各 FMC の固有のライセンスキーに基づいてクラシックライセンスを生成するため、ある FMC でライセンスを削除し、そのライセンスを別の FMC で再利用することはできない点に注意してください。詳細については、お使いバージョンの [Firepower Management Center コンフィギュレーションガイド](#) の「Licensing the Firepower System」を参照してください。

手順

ステップ 1 [System] > [Licenses] > [Classic Licenses] を選択します。

ステップ 2 削除するライセンスの横にある [Delete] アイコン (🗑️) をクリックします。

ライセンスを削除すると、そのライセンスを使用するすべてのデバイスから、ライセンスされている機能が削除されます。たとえば、Protection ライセンスが有効であり、100 台の管理対象デバイスに対して有効化されている場合は、このライセンスを削除すると、この 100 台のデバイスすべてから保護機能が削除されます。

ステップ 3 ライセンスを削除することを確認します。ライセンスが削除されます。

移送に関する考慮事項

ターゲットロケーションへの移送に向けてアプライアンスを準備するには、アプライアンスの電源を安全にオフにし、再梱包する必要があります。次の考慮事項に注意します。

- アプライアンスの再梱包には元の梱包材を使用します。
- アプライアンスに付属のすべての参考資料および電源コードを同梱します。
- 新しいパスワードや検出モードを含むすべての設定情報をターゲットロケーションに提供します。

アプライアンスの事前設定のトラブルシューティング

アプライアンスがターゲットでの配布用に適切に設定されている場合、その FMC は追加の設定なしでインストールして配布できます。

アプライアンスへのログインに問題がある場合、事前設定にエラーがある可能性があります。次のトラブルシューティング手順を試行してください。

- すべての電源コードおよび通信ケーブルがアプライアンスに正しく接続されていることを確認します。

- アプライアンスの現行パスワードがわかっていることを確認します。ステージングロケーションでの初期設定時に、パスワードの変更が求められます。新しいパスワードについては、ステージングロケーションで提供される設定情報を参照してください。
- ネットワーク設定が正しいことを確認します。詳細については、[Firepower Management Center インストールおよび初期セットアップ](#)を参照してください。
- 正しい通信ポートが正しく動作していることを確認します。ファイアウォールポートの管理と必要なオープンポートについては、『[Firepower Management Center コンフィギュレーションガイド](#)』を参照してください。

それでも問題が解決しない場合は、IT 部門に連絡してください。

